

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 105-7140
住 所 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター
氏 名 全日本空輸株式会社
代表取締役社長 井上 慎一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第 1 1 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	全日本空輸 株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区殿町3-26-3		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	H	運輸業、郵便業
	中分類	46	航空運輸業
主たる事業 の内容	その他管理、補助的経済活動を行う事業所		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		1, 613 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022年度～2024年度(報告年度2023年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の環境負荷低減の取組については、下記URLに記載 https://www.ana.co.jp/ana-info/ana/csr/main.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2021 年度)	第1年度 (2022 年度)	第2年度 (2023 年度)	第3年度 (年度)	目標排出量
排出量 (t-CO ₂)	(実) 2,881 (調) 2,868	(実) 2,793 (調) 2,789	(実) 2,758 (調) 2,522	(実) (調)	(実) 3,091 (調) 3,044
削減率		(実) 3.1 % (調) 2.8 %	(実) 4.3 % (調) 12.1 %	(実) % (調) %	(実) -7.3 % (調) -6.1 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原単位等の活動量	基準年度 (2021 年度)	第1年度 (2022 年度)	第2年度 (2023 年度)	第3年度 (年度)	目標とした値
排出量原単位 等の値					
活動量の値					-
排出量原単位 等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	一部のLED照明について、高効率のLED機器へ更新を実施。 使用頻度の少ない生ごみ用プレハブ冷蔵庫1台の停止を実施。
第2年度	コロナが明け、出社人数が増加し、電力量、熱エネルギー量は増加したが、 CO ₂ 排出係数が下がったため、CO ₂ 排出量は減少した。 また、空調や照明のこまめな設定変更を行い、排出量減少に努めた。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	1) 区画ごとに空調設定温度・湿度・スケジュールを確認し、用途・季節・曜日ごとの設定を見直し適切に管理する。 2) 24時間空調エリアの改善等を進め電力量削減を行う。 3) 利用エリアの制限を設け、効率的な空調設定の管理を行う。 4) LED照明の更新に伴い、高効率のLED照明の選定を行い電力量削減を行う。
第1年度	1) 空気調和機を区画・季節・曜日ごとに設定温度・湿度・運転スケジュールの見直し、省エネに務めた。 2) 24時間空調エリアについての温度設定を調整し、省エネに務めた。 4) 高効率のLED照明に更新を実施。 5) 使用頻度の少ないプレハブ冷蔵庫1台の停止を実施。(追加実施)
第2年度	1) 空気調和機を区画・季節・曜日ごとに設定温度・湿度・運転スケジュールの見直し、省エネに務めた。 2) 24時間空調エリアについての温度設定を調整し、省エネに務めた。 4) 高効率のLED照明に更新を実施。 5) 継続して使用頻度の少ないプレハブ冷蔵庫1台の停止を実施。(追加実施) 6) 夜間帯のELV台数減数実施。(追加実施) 7) 蒸気トラップの交換を実施し、蒸気の使用効率を高めるように努めた。(追加実施)
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	定格出力:100W×420=約41.9Kw 設置年度発電実績51345Kw 前年度発電実績44909Kw設置年度比:21/14(年度)87.5% ANAビジネスセンター	2013度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	特になし
第1年度	・廃棄物の削減対策を実施。 ・キングスカイフロントのごみ拾い活動に参画。 ・ペットボトルキャップを回収業者へ受け渡した。 ・賞味期限切れ間近の災害用備蓄品を従業員へ配布し、フードロス削減に繋げた。
第2年度	・キングスカイフロントのごみ拾い活動に参画。 ・ペットボトルキャップを回収業者へ受け渡した。 ・賞味期限切れ間近の災害用備蓄品を従業員へ配布し、フードロス削減に繋げた。
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	2,881 t-CO ₂	2,793 t-CO ₂	2,758 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	1,616 KL	1,548 KL	1,613 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

（2）事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
ANA殿町ビジネスセンター	川崎市川崎区殿町3-26-3	2,881	2,793	2,758	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度